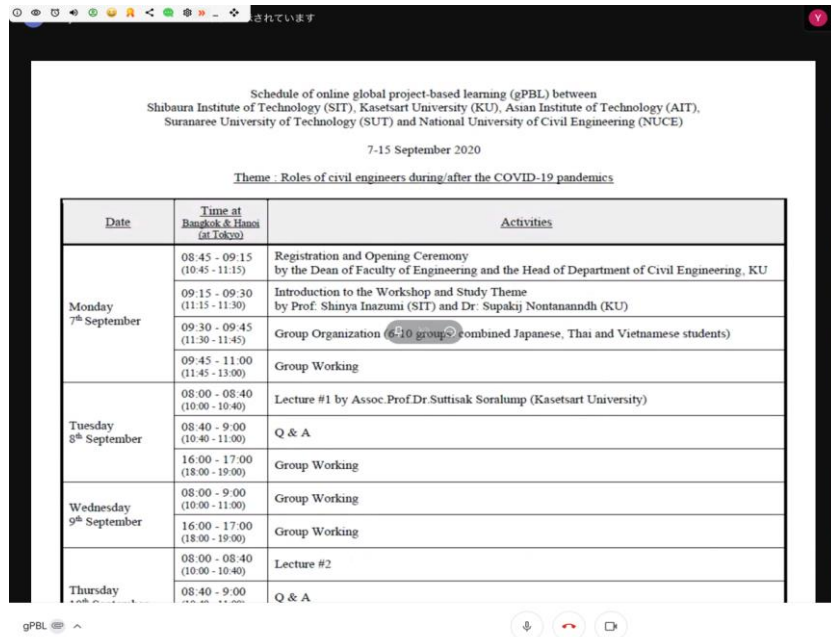


SIT+KU+AIT+SUT+NUCE gPBL: withコロナafterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割に関するワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年09月07日 ~2020年09月16日	日本	カセサート大学 アジア工科大学 スラナリー工科大学 ハノイ土木大学	土木工学科 ・学部1年生 ・学部2年生 ・学部3年生 ・学部4年生	(芝浦工業大学) 学生23名 TA7名 教員1名 職員1名 (カセサート大学) 学生30名 教員3名 職員10名 (アジア工科大学) 学生16名 教員1名 職員2名 (スラナリー工科大学) 学生10名 教員1名 (ハノイ土木大学) 学生4名 教員1名 職員2名	稲積 真哉(土木工学科) 穴見 優香(土木工学科) 伊代田 岳史(先進国際課程) 謝野 克昭(土木工学科) 並河 努(土木工学科) 勝木 大(土木工学科) 宮本 仁志(土木工学科) 平林 由希子(土木工学科) 岩倉 成志(土木工学科) 中川 雅史(土木工学科)



Schedule of online global project-based learning (gPBL) between
Shibaura Institute of Technology (SIT), Kasetsart University (KU), Asian Institute of Technology (AIT),
Suranaree University of Technology (SUT) and National University of Civil Engineering (NUCE)

7-15 September 2020

Theme: Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics

Date	Time at Bangkok & Hanoi (at Tokyo)	Activities
Monday 7 th September	08:45 - 09:15 (10:45 - 11:15)	Registration and Opening Ceremony by the Dean of Faculty of Engineering and the Head of Department of Civil Engineering, KU
	09:15 - 09:30 (11:15 - 11:30)	Introduction to the Workshop and Study Theme by Prof. Shinya Inazumi (SIT) and Dr. Supakij Noutanandh (KU)
	09:30 - 09:45 (11:30 - 11:45)	Group Organization (6-10 groups combined Japanese, Thai and Vietnamese students)
	09:45 - 11:00 (11:45 - 13:00)	Group Working
Tuesday 8 th September	08:00 - 08:40 (10:00 - 10:40)	Lecture #1 by Assoc.Prof.Dr.Suttisak Soralump (Kasetsart University)
	08:40 - 9:00 (10:40 - 11:00)	Q & A
Wednesday 9 th September	16:00 - 17:00 (18:00 - 19:00)	Group Working
	08:00 - 9:00 (10:00 - 11:00)	Group Working
	16:00 - 17:00 (18:00 - 19:00)	Group Working
Thursday 10 th September	08:00 - 08:40 (10:00 - 10:40)	Lecture #2
	08:40 - 9:00 (10:40 - 11:00)	Q & A

図1 スケジュール紹介

Google Meetによるオンラインにおいて、“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (withコロナafterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割)”をテーマとしたグローバルPBLを実施した。当該グローバルPBLでは、本学(SIT)から土木工学科を中心に30名、カセサート大学から30名、アジア工科大学から16名、スラナリー工科大学から10名、ならびにベトナム国立建設大学から4名の計90の土木系学生が参加した。そして、当該グローバルPBL期間中は、各日午前における特別講演などの全体イベントに加え、各日午後には10グループに分かれた各グループで活動を行った。グループ活動では、テーマである“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (withコロナafterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割)”を各グループ内で共有議論した。その成果を披露するために開催された最終発表会では、学生らしい斬新な発想が随所に盛り込まれた発表内容が多く、全ての参加者は土木工学のニューノーマルを創造することができた。全体イベントでは、タイでも日本でも有名な地盤工学者であるProf. Dr. Suttisak Soralump (Kasetsart University), Jet Grouting (地盤改良工法の一つである高圧噴射攪拌工法)で日本台湾タイベトナムをはじめ世界で活躍されておられる方から、特別講演をいただいた。また、日本ならびにベトナムからの参加は叶わなかったが、タイにおいて現場見学会も催され、それは各グループ活動において動画等で共有された。

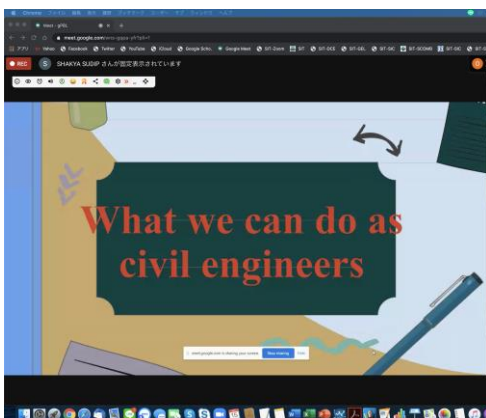


図2 ファイナルプレゼンテーション

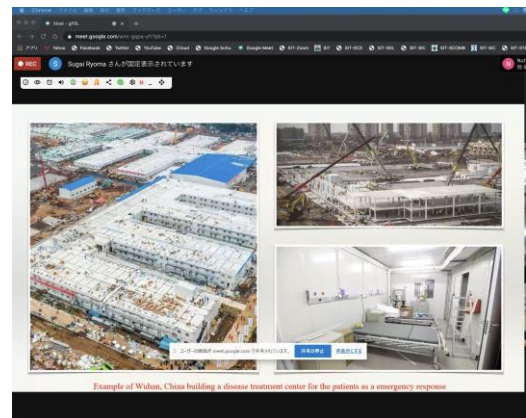


図3 ファイナルプレゼンテーション